



プランターで 野菜作りを始めてみよう!



小松菜

1 栽培時期と品種

○ 種まき ■ 収穫

栽培方法	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種
こまつな	○	■ ■ ■ ■										みなみ

2 準備するもの

- ◆種 ◆野菜用培養土(14リットル)
- ◆プランター(深さ15~20cm程度の長方形、幅20x奥行65cm程度が目安)
- ◆鉢底石 ◆移植ごて(小型の園芸用シャベル)
- ◆化成肥料 ◆園芸用ハサミ ◆じょうろ

3 種まきの手順

- 小松菜は、土に筋状の溝を作り、そこに種をまく「すじまき」という方法を用いる
- ◆きれいに洗ったプランターに、鉢底石を底が見えなくなるくらいまで入れる。
 - ◆培養土はプランターいっぱいに入土を入れるのではなく、縁から2cmくらい高さを残して入れる。
 - ◆深さ1cm程度の溝を15cm間隔で2列作り、溝に約1cm間隔で種をまく。
 - ◆溝の両側から土を指でつまむようにしてかぶせ、手で軽く押さえる。
 - ◆プランターの底から水が流れ出るまで、たっぷり水をやり、風通しの良い日なたに置いて育てていく。(発芽するまでは土の表面が乾く前に水をやる)

4 間引き

- ◆双葉が開いたら最初の間引きを行う。
- ◆3cm間隔になるように、育ちが悪い芽を間引く。
- ◆葉が7、8枚になったら、2回目の間引きを行う。
- ◆ハサミで1本おきに株の根元を切る。
- ◆間引き後は、手で「土寄せ(根元に土を寄せかけること)」をする。
- ◆間引き後は、土の表面が乾燥したら1日1回を目安にたっぷり水を与えるようにする。

5 追肥

- ◆間引きを行ってから1週間後に最初の追肥を行う。化成肥料10gをプランター全体にまき、追肥後は土寄せする。
- ◆以降、2週間ごとに1回を目安に同量の追肥と土寄せを行う。(収穫後は追肥)

6 収穫

- ◆草丈が20~25cmになったものから順次、株の根元をハサミで切り取るか、手で株ごと引き抜いて収穫する。(成長し過ぎると味が落ちるので、適期になったらすぐに収穫する方がよい)

Point

プランターをいくつか準備して、10日おきに種をまけば、長い期間適量ずつ収穫することができる。

7 病気

- ◆代表的なものに白さび病が挙げられる。

アミスター20 フロアブル

水2ℓ→薬1ml(2000倍) / 使用回数2回
収穫7日前まで使用可

8 害虫

- ◆小松菜はアブラナ科の野菜なので虫の大好物。アブラムシ類やアオムシ、ヨトウムシ類などが寄ってくる。

Point

毎日こまめに葉の表裏をチェックし、見つけたらすぐに割りばしで駆除するか、勢よくホースなどで水をかけて洗い落とす。